

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ支援事業				担当	教育委員会 スポーツ振興課 指導係	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名	V-7 スポーツによるもおが創生の推進	
施策名	4	生涯スポーツ・レクリエーションの振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成28年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
法令根拠	真岡市補助金等交付規則						
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	5. 保健体育費	1. 保健体育総務費			
事業概要	総合型地域スポーツクラブは多種目・多世代・多趣向を特徴にした活動を行い、地域住民が主体となって運営するスポーツクラブである。 市は平成28年もおがスポーツクラブの設立から会運営の支援を行っている。 もおがスポーツクラブはtotoスポーツ振興くじ助成事業の総合型地域スポーツ自立支援事業（H28～H32）を受けてクラブの運営を行っている。 H29事業 運営委員会の開催（年12回） 定期的な教室開催（陸上競技、リソニックチーム、グラウンドゴルフ、ダンス、ディスクゴルフ） 短期教室開催（ランニング、スポーツチャッパ、ピッチャー、弓道） スポーツイベントの開催（芳賀地区スポーツフェスタ、ウォーク）						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 29年度実績 補助金の交付。 運営事務の指導。 30年度計画 前年度同様	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)		
	ア 補助金	千円			700	700	700		
	イ 指導回数（会議等）	回			19	18	18		
	ウ エ オ								
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 もおがスポーツクラブ	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)		
	ア 会員数	人			291	312	300		
	イ スポーツ教室実施回数	回			161	155	165		
	ウ スポーツ教室の延べ参加者数	人			5,079	5,356	5,800		
エ オ									
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 地域住民が自主財源を主とする自主的な運営を目指す。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)		
	ア 自主財源/運営費（補助金含む）	%			40.1	49.4	50.0		
	イ ウ エ オ								
	④ 結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 地域住民が心身ともに健康で豊かな生活を送ることができる地域コミュニティづくりと活性化を図る。	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
名称		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)		
ア スポーツレクリエーションをしている市民の割合		%			59.3	58.5			
イ ウ エ オ									
(2) 総事業費の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	0	0	700	700	700
	事業費計(A)		千円	0	0	700	700	700	
	人件費	正規職員従事人数	人	0	0	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	0	0	100	100	100	
		人件費計(B)	千円	0	0	415	415	415	
	トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	1,115	1,115	1,115	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	地域コミュニティの気薄化が進み、集う機会の減少による連帯意識・社会性の欠如、運動をする機会の減少等による体力の低下などを引き起こしていると考えられ、それらの問題を解決する一つの方策として総合型地域スポーツクラブの設立を推進し支援することとした。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	障害者を含む子どもからお年寄りまで、複数の種目で、定期的・継続的なスポーツ活動を実施している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	継続的な支援の要望。 教室の増設。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 多くの市民がスポーツに参加できる機会をつくり、市民ひとり1スポーツの推進が図られる。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある スポーツ振興を担う団体であり、地域コミュニケーションの場を提供している。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市民のスポーツ振興を図る団体のため適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 地域ぐるみでスポーツ振興を図っている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない スポーツを通じた地域コミュニティの場がなくなり、スポーツ人口の底辺拡大が図れない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない 類似事業はない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある スポーツ人口の底辺拡大の場であり、削減の余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか （アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 補助金交付事務と会議出席等、最小限の人件費で削減の余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある クラブ運営のため、会員より会費を徴収しているため、公平公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							